

科目	運動学Ⅱ (OT)	担当	富山 直輝	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

本科目では運動学各論として、上肢、下肢、体幹の関節構造を理解し、各関節における運動メカニズムの原理と特性を理解することが目標となる。関節の運動を理解するために、実際に体を動かし、標本に触れながら、各関節でおこる運動の理解を深めていく。到達目標としては、1)各関節の構造と運動が理解し説明できるようになる、2)各関節における病的メカニズムが理解し説明できるようになることである。

【履修注意】

解剖学・生理学知識が基礎となる科目であるので復習して授業に臨むこと。
なお、予定を変更することがある。

【評価方法】

期末試験 8割、小テスト 2割で総合的に評価する。

【試験について】

- ・期末試験を実施する。
- ・再試験対象者の条件：総合評価が6割未満

【予習・復習】

- ・本科目は1単位科目であるため、講義以外に45分の自主学習が必要となる(文部科学省指針)。
- ・解剖学・生理学知識が基礎となる科目であるので予習・復習(45分程度)して授業に臨むこと。
- ・小テストを実施し、到達度を確認する。

【教科書】

資料配付するため、特に必要なし。

【参考書】

書籍名：筋骨格系のキネシオロジー 著者：Donald A. Neumann, 訳：嶋田智明, 平田総一郎 出版社：医歯薬出版

書籍名：オーチスのキネシオロジー 身体運動の力学と病態力学原著第2版 著者：Carol A. Otis, 訳：山崎敦, 佐藤俊輔, 白星伸一, 藤川孝満 出版社：ラウンドフラット

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	肩関節1	骨, 軟部組織, 筋
2	肩関節2	関節構造, 運動特性, 病的メカニズム
3	肘関節1	骨, 軟部組織, 筋
4	肘関節2	関節構造, 運動特性, 病的メカニズム
5	手関節1	骨, 軟部組織, 筋
6	手関節2	関節構造, 運動特性, 病的メカニズム
7	手指1	骨, 軟部組織, 筋
8	手指2	関節構造, 運動特性, 病的メカニズム
9	股関節1	骨, 軟部組織, 筋
10	股関節2	関節構造, 運動特性, 病的メカニズム
11	膝関節1	骨, 軟部組織, 筋
12	膝関節2	関節構造, 運動特性, 病的メカニズム
13	足関節	骨, 軟部組織, 筋
14	足関節・脊柱	骨, 軟部組織, 筋, 関節構造, 運動特性, 病的メカニズム
15	脊柱	関節構造, 運動特性, 病的メカニズム
16	定期試験	15コマの復習・確認・総まとめ